

## 早稲田大学大学院で寄附講座「ファミリー・ビジネス・ファイナンス」を開講 ～初回授業は5月30日(土)～

ハイアス・アンド・カンパニー株式会社(本社:港区白金台 代表:濱村聖一 以下、ハイアス)は、早稲田大学大学院でファミリー・ファイナンスのアドバイザーやコンサルタントとしての基礎知識を習得する「ファミリー・ビジネス・ファイナンス」の寄附講座を5月30日(土)より開講します。

ハイアスでは、住宅消費者にとって効果的な資産形成や資産マネジメントノウハウを提供する、住宅・不動産事業者の能力向上支援、専門性を高めるためのアプリケーションの開発、提供を行っております。現在では導入会員も300社を超えており、不動産事業に関わる事業者の資質向上を先導する事業を推進してまいりました。

今回、ハイアスが寄附講座を提供、開講するに至ったのは、一般家庭を含む日本人の資産構成の特徴である不動産資産の割合の高さを考えたとき、ファミリー・ファイナンスのアドバイスニーズに応えるには法律の専門家や銀行など従来の相談先だけでは十分なソリューションが提供できず、不動産を活かすノウハウを持つ専門家を育成する必要があると考えたからです。ハイアスが蓄積したこれまでのソリューションノウハウを、早稲田大学との共同研究を通じて整理、体系化することで、領域をまたがる専門家の育成に資するものにしてゆきたいと考えております。

本講義では、家族と資産の最適な組み合わせを、ソリューションとして顧客に提供する能力を向上することを目的としています。講義では、ケーススタディが中心となります。テーマは、1.ウェルス・マネジメント、2. ファミリー・ビジネス、3. タックスプランニング、4. リタイアメント・プランニング、5. 不動産運用です。

### 【早稲田大学大学院ファイナンス研究科川口有一郎教授コメント】

最近、ファミリー・ファイナンスのアドバイザーやコンサルタントへのニーズが高まっています。その背景として、例えば、子や孫までのことを考えた対策は、税理士、会計士、弁護士といったこれまでの専門家だけでは、顧客のニーズに必ずしも応えられません。ファミリー・ファイナンスに関する問題解決には、コンシリエントな能力が必要とされるからです。コンシリエントとは、様々な専門分野の知識を統合することです。よりよいアドバイザーであろうとする人は、専門家をコーディネートする能力、また、これらの知識を統合して、家族に関わるビジネスとファイナンスの問題を多角的に解決する能力が求められます。

### 【寄附講座の概要】

名称:「ファミリー・ビジネス・ファイナンス」

授業概要: アドバイザーやコンサルタントの視点から「ファミリー・ファイナンス」とそのプランニングを学習するものである。ファミリー・ファイナンスは家族単位の複数世代の財務と投資の意思決定問題を扱う。この問題を扱うためにここでは複数世代の家計を企業と考える。家族単位の複数世代の資産の保有に法人の器を利用したものが「ファミリー・オフィス」である。この最大の資産は不動産である。そのため、本講義では運用資産は「主に不動産」に着目する。また、ファミリー・オフィスは「ファミリー・ビジネス」の一形態とみなすことができる。これが大規模な事業を行うケースはファミリー・ビジネスそのものである。ファミリー・ファイナンスは、ファミリー・ビジネス(家族の事業活動と戦略)も含んでいる。(本科目の名称が「ファミリー・ビジネス・ファイナンス」となっているのはこのためである。)

以上の意思決定を統合的に支援するものが「ファミリー・ファイナンシャル・プランニング」である。担当教員は、講義統括を務める川口教授のほか、オムニバス形式で早稲田大学および、他大学の教授、民間シンクタンクの研究者、および、民間企業の専門家(ハイアス、取締役常務執行役員の川瀬、ハイアス総研 客員上級研究員の山本も講師として参加)10名が担当。

期間:2015年5月30日(土)～7月25日(土) ※全15コマ

設置機関:早稲田大学大学院ファイナンス研究科

講座統括責任者:川口有一郎教授

今後もハイアスでは住宅・不動産のコンサルティング企業として、業界で求められる人材育成の一助となる活動を拡大していきたいと考えています。

### ■ ハイアス・アンド・カンパニー(株) 会社概要

- 設立: 2005年3月 ○ 資本金 1億1千425万円
- 所在地: 東京都港区白金台 ○ 社員数 78名
- 事業内容: 財産コンサルティング事業、住宅・建設・不動産事業のナレッジ開発、販売促進支援事業など
- 会社 URL: <http://www.hyas.co.jp> ○ 各種ソリューション紹介: <http://view.hyas.co.jp/>